|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 市長との細谷・上戸祭地区まちづくり懇談会  「意見・要望書」 | | | |
| 提  出  者 | ふりがな |  | 所属団体 |
| 氏　　名 | 役 職 名 |
| 住　　所 |  | |
| 電話番号 |  | |
| テーマ　　ビジョン　未来につなげよう～わたくしたちのまち | | | |
| * わたくしたちは、細谷・上戸祭エリアの「地域ビジョン」を作成するにあたり、平成２７度の   「地域の魅力再発見（Ⅰ・Ⅱ）」、平成２８・２９年度の「地域の歴史を知ろう（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ）」、  から始まり、「地域ビジョン検討委員会」では、２年間で１８回開催（延べ参加人数８６２人）、地域の重要な課題や重点項目の検討を重ねて、細谷・上戸祭地域の「将来のあるべき姿」「まちづくりの大きな目標」として「みんなのしあわせがあふれるまち」を策定し、現在、その目標に向かって「しあわせと笑顔のまちづくり」に邁進をしているところでございます。  あるべき姿の実現に向けた「十五項目」の取組みの内、今年度はすでに、  ・「人と人をつなぐ活力のあるまちづくり（ホームページ・ブログの開設）」  ・「緑や花々があふれるまちづくり（地域をひとつの花壇にしよう）」  ・「次世代をみんなで育てるまちづくり（来年度より細谷小学校の宮っこステーションの実施決定）」  などが着実に実施されてきました。  　 また、９月１３日（木）の「第１回、未来につなげよう～プロジェクト＜２０１８＞」の分野別専門会議には５３名の皆さんが参加され、課題解決に向けた具体的検討を熱心にしたところでございます。   * 細谷・上戸祭エリアはわたくしたちの「まち」にとって魅力的な自然や歴史を感じることのできる   釜川をはじめ遺跡や史跡などが数多く残っています。そのような、魅力的な自然や遺跡・史跡を残し「保護・保全・愛護」をしなくてはならないと言う「気運」がわたくしたちの地域で高まっています。  その様な中で、「釜川の源流、西弁天沼・東弁天沼」や「戸祭大塚古墳」等々、私有地となっているところが多々見受けられます。  私たちは、そのような場所を公有地にしていただき、そこを訪れる子どもたちや多くの人たちが宇都宮の歴史や自然を感じることのできる「公園化」となれば、宇都宮への愛着がさらに深まるとともに、  地域住民にとって、自分たちの手で「保護・保全・愛護」がしやすくなります。   * 地域の愛着を今まで以上に深め、住民相互の連携を高めることができるよう、地域に残された自然   や歴史に親しみを持ちながら「保全・活用」していく活動,  ・「地域の歴史を再発見するまちづくり（地域の魅力を訪ねて歩けるマップづくり）」  ・「自然や歴史を活かした潤いあるまちづくり（釜川や大塚古墳などの歴史遺産の保護保全愛護活動）」  をさらに推進していく為にも、  特に、「戸祭大塚古墳」「釜川の源流地」を公有地にしていただきたく、細谷・上戸祭地区自治会連合会／地域まちづくり協議会の総意としてお願いするものであります。 | | | |
|  | | | |